

令和3年度 全国学力・学習状況調査について

玉城町立下外城田小学校

5月27日に6年生を対象に実施した「令和3年度学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。
以下の分析をもとに、今後も指導を改善していきます。

【 令和3年度学力・学習状況調査の結果 】

三重県平均・全国平均と比較し、国語で2%。算数で2%下回っていました。しかしながら、三重県・全国と比較しても無回答率が少なく、粘り強く最後までやり通す力がついてきました。これは、児童質問紙からも明らかで、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。」は、全国平均より7%上回っています。以下が詳しい分析と今後の取り組みです。

1 分析結果について

(1) 国語

- ・**2** 三の記述式問題は、1つ目の条件の中に、条件が2つ含まれている。そのため、片方の条件を落として記述している児童が半数いた。2つ目の条件の「言葉や文を取り上げて」ということ、文字数に合わせて書くことは、よくできていた。
- ・**2** 四の記述式問題は、**2** 三の問題のように条件が2つ含まれている。そのため、片方の条件を落として記述している児童が、この問題も半数いた。
- ・**3** 二の記述式問題は、よくできていた。しかし、2つ目の条件から言葉や文を取り上げて、書くことができなかった児童が数名いた。
- ・**3** (1)の漢字の書き取り問題では、ア「ころがって」を「軽がって」と記入している児童が数名いた。「転」「軽」似ている漢字の指導も必要だと感じた。イ「積(み)」、ウ「原因」はよく書けていた。
- ・**3** (2)の主語、修飾語の問題は、主語を見つけることはできていた。しかし、修飾語「すぐ」がどの言葉を詳しくしているかと問われた問題では「遊び終わったら」を選択している児童が3分の1ほどいた。

(2) 算数

- ・**1** (5)時速、距離が分かっている問題で、時間を求める式を間違えて立式(540×2000)した児童が3分の1ほどいた。
- ・**2** (1)三角形の面積を求める問題では、底辺と高さをどこにするかが分からず、 3×5 と立式している児童や、 $\div 2$ を忘れ、長方形の面積を求める式を書いている児童がいた。公式として、底辺 \times 高さ $\div 2$ が定着していない児童もいた。
- ・**2** (3)の記述式問題では、「どこを底辺とするか」「高さは2つ分なので $6.5 \times 2 = 13$ 」を意識し、平行四辺形の面積をどのように求めたかを記述することができていた。
- ・**3** のデータを活用する問題は、全体的によくできていた。棒グラフを読み取り、選択肢を選ぶことができていた。
- ・**4** (2)は、数値を見て、 $8 \div 4 = 2$ が計算しやすいため、このように立式した児童が半数いた。数直線に

数量関係を書けば分かる児童が多いが、数直線を書いて考えるという習慣が身に付いていないことが明らかとなった。

・ **4** (3)の記述問題は、数直線が書かれ、【ゆうまさんの説明】と同じように書けばよいので、ほぼ全員が正答することができていた。

(3) 児童質問紙

以下の質問は、肯定が三重県・全国平均を上回っていました。

【 三重県・全国平均を上回る主な質問 】

- ・学校に行くのは楽しいと思いますか。
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか。
- ・自分と違う意見を考えるのは楽しいですか。
- ・地域をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

しかし、依然として、ゲームやテレビ等の視聴時間が長い傾向にあります。特に、土日などの学校が休みのときの学習時間が下回っています。また、自己肯定感がやや低く、将来の目標や夢を持ちにくい子がいることは課題です。

2 今後の取り組み

児童は、チャイム着席をはじめ、学習規律が確立し、落ち着いた雰囲気です。授業に取り組んでいます。また、タブレット端末を使い、ドリル等の基礎学力の向上を図ったり、画面から他者の意見を考えたりしています。学校行事や児童会活動、通学団などの日々の活動では、最上級生としてリーダーシップを発揮しています。このような児童に対して、全国学力学習状況調査に出題された問題傾向から明らかなように、様々な情報の中から必要な情報を選択する力を育成する必要があります。そして、その情報を選択する力を使って、問題を解決していく力をつけていかなければなりません。そのためにも、知的好奇心を喚起し、考えさせる授業作りが大切になってきました。

学校では、全校で以下のことに取り組んでいきます。

【 さらに重点的に取り組むこと 】

- ・読み・書き・計算という知識・技能がしっかり定着するよう、朝の学習や家庭学習で継続して計算問題、漢字の練習に取り組んでいきます。
- ・国語科で、条件に沿って文章をまとめたり、自分の考えを筋道を立てて表現したりする場面を授業でより多く設定します。また、他教科でも授業の「振り返り」の場面で、その書き方や表現方法を提示し、指導していきます。
- ・算数科では、数量を比較するときに数直線で表したり、面積の求め方を図形と式に関連付けて説明したりできるよう、ノート指導を工夫し、考えたことを表現し合う活動を充実させていきます。

一方で、自主学習を進め、休日の学習時間を増やしていくことも必要です。そのためにも、保護者と連携して家庭学習を進め、携帯電話やゲーム、テレビの視聴時間の削減に取り組んでいきます。